

早稲田大学を破り！

第14回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト マルチコプター部門において機械工学科 伊藤研究室卒研チーム「希望」が優勝

国際高等専門学校（石川県金沢市久安2-270 校長：ルイス・パークスデール）機械工学科5年伊藤研究室の卒研チーム「希望」（メンバー：菊田有昭さん、小西歩さん、馳陽大さん、又村峰裕さん）が平成30年9月28日（金）～30日（日）大田区総合体育館（東京都大田区東蒲田1丁目11番1号）にて行われた一般社団法人日本航空宇宙学会主催の「第14回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト」マルチコプター部門で優勝しました。

全日本学生室内飛行ロボットコンテストは、室内で飛行する航空機型ロボットによる競技です。マルチコプター部門は、「ドローン」と呼ばれることが多い、複数の回転翼をもつ機体で出場します。同部門のミッションは、ヘリポートから飛行を開始し、ミッションエリアにて各ミッションを完了したのち、ヘリポートに帰還することです。

今年の予選のミッションは、離陸して高所から物資（チキンラーメン）を正解の高所運搬台に運び、運んだチキンラーメンの数で点数を競い、この、ミッションをクリアすれば「8の字飛行」にチャレンジし、速度や性能を競います。

決勝では、大型の物資運搬にチャレンジし、離着陸エリアからぬいぐるみを結び付けて離陸して、着陸位置にぬいぐるみを静止させ、接続を保ったままヘリポートに機体を着陸させます。国際高専チーム「希望」は、予選と決勝を通じて全てのチャレンジに成功し満点を獲得しました。

また、これまでマルチコプター部門には、2回エントリーして2回とも書類審査を通過できず3度目の挑戦で優勝を勝ち取りました。

チームリーダーの馳さんは、「初出場で不安もたくさんありましたが、諦めずにそれぞれがベストを尽くして優勝を勝ち取ることができました！」と優勝の喜びを語りました。

「第14回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト」
マルチコプター部門結果（参加11チーム）

- 1位 国際高専 1925点
- 2位 早稲田大学 1460点
- 3位 高知工科大学 1250点
- 4位 東京農工大学 410点



初優勝した伊藤恒平研究室の卒研チーム

伊藤恒平研究室の卒研チーム機体「希望」の概要



- 1 カーボクロスを積層して自作した軽量CFRPフレーム
- 2 前後の区別を視認しやすくするためのLEDランプ
- 3 超小型の動画撮影用のカメラ
- 4 フレーム及び投下装置の製作にレーザー加工機を最大限に活用
- 5 トライアンドエラーの調整によって達成した安定性

本件に関する問い合わせ先
国際高等専門学校 機械工学科
伊藤恒平教授

076-248-9880(直通) 076-248-1080(事務局)

学校法人金沢工業大学
広報課長 志鷹英男 076-246-4784